

2023 年度入学者選抜試験 受験者への要請事項

はじめに

・試験場における感染拡大を防止し、受験者自身が安心して受験できる環境を確保していくためにも、受験者等は以下の事項を遵守すること。

なお、受験者等は以下の内容に関わらず、必ず、受験する学部・研究科の募集要項および入試情報サイトの指示に従うこと。

特に、音楽学部・大学院音楽研究科の受験者は、別途定めているので、必ず確認、指示に従うこと。

・新型コロナウイルス感染症への対応の必要性から、各学部・研究科は入学試験日程及び入学者の選抜方法等の変更を決定する場合がある。その際は「入試情報サイト (<http://admissions.geidai.ac.jp/>)」で告知する。日々、最新情報を確認すること。

受験できない者・受験のとりやめ

- **受験できない者**：新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できない。海外から日本に入学して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入学後の待機期間中は受験できないこと。
- **発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者（※）**：次に示す条件のもと、受験できる場合があることから、受験前に大学に問い合わせ、受験の可否を確認すること。①初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施する PCR 等の検査（行政検査））の結果、陰性であること。（検査結果が判明するまでは受験不可とする）②受験当日も無症状であること。③公共の交通機関（電車・バス・タクシー・航空機（国内線）・旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと。④終日、別室で過ごすこと。
※濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者をいう。
- 発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合

受験を取り止めること。

- 受験できない者、および受験を取りやめた者について、追試験等の特別措置は実施しない。
また、入学検定料の返還は行わない。

試験前日までのお願い・連絡事項

- 日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。
- **医療機関での受診**：試験日の 1 週間程度前から発熱・咳等の症状がある場合にはあらかじめ医療機関での受診を行うこと。
- **試験当日の服装、昼食**：試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参すること。また、試験場で食堂の営業等を行わないため、昼食を持参し、あらかじめ指示された時間内に自席で食事をとること。
また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用すること。
※何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ大学に相談すること。
- **ワクチンの予防接種**：他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防可能な疾患の予防接種を受けておくことが望ましいこと。
- **「新しい生活様式」等の実践**：日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけること。

試験当日における対応

- 試験当日の検温で、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を誘導監督員または入試事務室等に申し出ること。
※詳細については受験する学部・大学院の募集要項等を必ず確認すること。
- 試験会場で非接触体温計等による検温を実施することがある。
- 発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内では、昼食時等を除き、マスク着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）のこと。

- 休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えること。
- 試験室への入退出を行うごとに、速乾性アルコール製剤等による手指消毒をすること。
- 試験開始前に発熱・咳等の症状の有無を試験監督者より確認する場合があるので、症状がある場合にはその旨申し出ること。
- 試験終了後、試験室からの退出の指示があるまで、そのまま待機すること。
- 試験場内ではマスクを廃棄しないこと。
- 帰りは寄り道をせず、まっすぐ帰宅すること。
- 帰宅後は、まず手や顔を洗うこと。

【問い合わせ先】

東京藝術大学 学生課入学試験係

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

電話 050-5525-2075

E-mail : nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp